



つつじシャトルバス！

5月24日(土)、6月8日(日)、八方ヶ原のつつじを楽しむ送迎シャトルバスの運行を行いました。5月下旬から6月中旬まで八方ヶ原では、さまざまな種類のつつじが楽しめます。特に大間々に20万株群生しているレンゲつつじの様子を見た参加者からは「一面オレンジに染まっていて感動した」、「元気をもらった」など、感嘆の声があがっていました。



小間々の女王さま

八方ヶ原の小間々にあるトウゴクミツバつつじの大木が、きれいな花を咲かせました。このつつじは枝振りが見事なことから「小間々の女王」と呼ばれ親しまれています。

山の駅たかはらの和気館長曰く「今年は花付きがとともよい」とのことでした。案内看板の設置や新聞などで紹介されたこともあり、連日、多くの方が訪れ花を楽しんでいました。

撮影日：平成26年5月24日(土)

子どもたちに体験を！

5月16日(金)、塩谷地区優良青少年団体等表彰を受賞した矢板市子ども地域活動促進事業実行委員会が教育長を表敬訪問しました。この賞は、普段できない「体験」を子どもたちに提供し、親子や異なる学校同士の交流を生み出す活動を15年間続けたことを評価されたものです。

築瀬会長は「今後も子どもたちにおもしろい体験活動を提供して元気に育つ環境づくりをしていきたい」と力強く語ってくれました。



見事なポピーが咲きました

6月4日(水)、市身体障害者福祉会が育てている川崎反町地内のポピー畑で鑑賞会が行われました。この畑は、身体障がい者の機能回復や健康増進、社会貢献を目的に会員の皆さんが手入れを行っており、今年で7年目を迎えました。この日集まった約35人の皆さんは、きれいに咲いた花を楽しんだ後、食事会を行うなど親睦を深めていました。



ブラジルW杯に審判で！

5月28日(水)、市役所でサッカーワールドカップブラジル大会の審判団の一人に選ばれた、矢板市民栄誉賞受賞者の相楽亨さんの壮行会が行われました。壮行会では、市内全小学校の6年生全児童と関係者による寄せ書きが手渡されました。「市民みんなで見守っている」という激励の言葉に対して相楽さんは「精一杯走ってくる。頂いた寄せ書きは、ホテルの部屋に貼って頑張りたい」と力強く話していました。



ココマチでパブビュー

6月15日(日)、「ココマチ」で、サッカーワールドカップブラジル大会日本代表初戦のパブリックビューイング(PV)が行われました。試合前には、開幕戦で副審を務めた相楽亨さんからのメッセージ動画なども流されました。試合は残念ながら負けてしまいましたが、参加した約80人の皆さんは、スクリーンに向かって惜しめない声援を送っていました。

先月オープンした「ココマチ」の2階では、今後も皆さんが集まれるようなイベントを開催していくとのことでした。

県庁でトモだちにナリたい

6月15日(日)、県庁で県民の日のイベント「とちキャラクターズまつり」に市のキャラクター「ともなりくん」が登場しました。各市の紹介コーナーでは、ラジオ番組「矢板時間」のパーソナリティー「まっち」と「トッキー」がステージに上がり矢板のPRを行いました。

すっかり知名度を上げてきた「ともなりくん」には、会場に集まった多くの子どもたちから大きな歓声が上がっていました。



蛍の乱舞

6月17日(火)、矢板市役所のとなりを流れる内川でホタルを撮影しました。内川では、ここ何年かホタルの数が増えてきているそうです。「野草を楽しむ会」の川上さんは、「この川をきれいに掃除してくれている人が増えてきている。これからもきれいな川を守っていきたい」と話していました。

